

# Joint International Symposium on

共同国際シンポジウム

## “Regional Revitalization

## and Innovation for Social Contribution”

「社会貢献を目的とした地域の活性化とイノベーションの創出」

and

## “e-ASIA Functional Materials and

## Biomass Utilization 2015”

「e-ASIA 機能性材料及びバイオマスの適用技術 2015」

[ J. I. S. R. I. e-ASIA 2015 ]

—技術・研究発表募集のご案内—

**発案・主催** 地域振興学会（医科学と自然科学と社会科学の融合）

**共催** 田川市、国立大学法人熊本大学、学校法人近畿大学、公立大学法人福岡

県立大学、一般財団法人 M&A(マルボシ酢・アスキー) 食品技術研究所

### 協賛団体

マルボシ酢(株)、(株)アスキー、NPO 法人住学共同構築豊地域づくりセンター、(株)クリエイティブジャパン

### 後援団体

中村産業グループ中村産業バイオ研究所、e-ASIA(JST)、SAKURA SCIENCE プラン(JST)、九州経済産業局、福岡県、田川広域観光協会、田川市教育委員会、福岡放送、九州朝日放送、テレビ西日本、TV Q、九州放送、RKB毎日放送、NHK 北九州放送局、西日本新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、毎日新聞社、医療系学術団体、日本化学工学会

## 趣旨

これまで科学技術を利用したものづくりについては、多くの成果がさまざまな場所で発表されてきました。しかし、これらの成果が社会の中にどのように浸透していくかについては、未解明の部分が少なくありません。こういったことから、ものづくりと社会を結びつける新たなパラダイムが必要です。このパラダイムに基づいた成果を発表する国際会議を福岡県田川の地で開催する運びとなりました。

田川は、かつて日本最大の産炭地として、科学、工学、ものづくり、教育及び福祉で地域や日本の近代化産業を底辺から支えてきました。残念ながら炭鉱の閉山に伴って多くの人々がこの地を去っていったという歴史があります。だからこそ、この田川の地に新たな起爆剤を注ぎ、地域活性化の再出発点にする必要があります。それが科学、工学、社会科学と医科学の融合を試みる本国際会議です。

そこで、Joint International Symposium on “Regional Revitalization and Innovation for Social Contribution” and “e-ASIA Functional Materials and Biomass Utilization 2015”を2015(平成27)年10月1日(木)に開催し、「科学技術に基づいた”ものづくり”を地域の中にどのように溶け込ませていくか」をテーマに、技術・研究発表会ならびに記念講演、基調講演を行う運びとなりました。この国際会議の開催は、田川の地を世界にアピールする絶好の機会だと考えます。また、ポスター及び口頭による一般講演にはアワードを設け、最優秀発表者の表彰を通して若手研究者育成も目指しています。

この国際会議は、地域振興学会が主催として、田川市、熊本大学、近畿大学、福岡県立大学、一般財団法人 M&A(マルボシ酢・アスキー)食品技術研究所の共催のもと運営され、また、熊本大学採択の JST (Japan Science and Technology Agency)共同研究プログラムである e-ASIA および SAKURA SCIENCE プランの援助と後援をいただき、運営されます。その他、中村産業グループ中村産業バイオ研究所、九州経済産業局、福岡県、田川広域観光協会、川崎町、田川市教育委員会、川崎町教育委員会、福岡放送、九州朝日放送、テレビ西日本、TVQ、九州放送、RKB毎日放送、NHK北九州放送局、西日本新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本化学工学会の後援により運営されます。

本国際会議ではアジア8カ国の大学と企業研究機関及び行政機関から9カ国の研究者を迎え、研究発表を行います。なお、口頭およびポスターによる研究発表等は原則として英語で行われます。

記念講演は、森山沾一氏、秋野公造氏、井田民男氏によって行われます。

森山沾一氏は福岡県立大学顧問、前副学長であり、山本作兵衛研究の第一人者です。炭鉱で日本のものづくりを支えてきた田川の貴重な史料である山本作兵衛氏の直筆日記 66 冊(福岡県立大学保管)を含む炭鉱記録画等 697 点が 2011 年、日本初のユネスコ世界記憶遺産に登録されました。この度、尽力されてきたこれらの遺産を地域資源、観光資源としての活用と教育について記念講演が行われます。

秋野公造氏(長崎大学客員教授、横浜薬科大学客員教授)は、参議院議員(災害対策特別委員長、元環境大臣政務官)や研究者の立場から医学界に精通し、消化器医療や内視鏡医療に詳しい。また、「胃がん予防のためのヘリコバクター・ピロリ菌除菌」が 2013 年に同氏の働きかけにより、薬事承認され保険適用とされるなど、実用化を視野に入れた研究を実践されています。この度は地域医療における予防医療のあり方について、記念講演ならびに同氏の一般セッションにおける研究発表が行われます。

井田民男氏(近畿大学教授)は、現在、バイオマスを利用したバイオコークス研究において世界から注目を浴びています。この度は、エネルギー問題と環境問題について最新の研究動向と今後の展望についての記念講演が行われます。

湯浅雅賀氏(近畿大学産業理工学部講師)は機能性無機材料を用いた次世代大容量蓄電池、金属空気電池や環境計測用ガスセンサの開発を通じ、エネルギー技術に関する基調講演が行われます。

Auresenia Joseph 氏(フィリピン国デラサール大学教授)は、複合技術を用いたバイオマス利用の分野で著名であり、同教授による基調講演が行われます。

柴田康氏(歯科医師、医療法人 康和会 会長)は筑豊飯塚を中心に歯科医院(アイ歯科)を開設し、歯科医療のみならず、内科・神経内科などの医科、並びに介護老人保健施設やデイサービスなどの介護施設なども運営され、広域に渡り地域医療を支えています。この度は歯科医師による口腔内から見た誤嚥性肺炎性予防についての基調講演が行われます。

大浦武彦氏(北海道大学名誉教授、医療法人社団廣仁会褥瘡・創傷治癒研究所所長、日本下肢救済・足病学会理事長)は、北海道大学医学部形成外科学講座(北大形成外科)の初代教授を務められ、褥瘡(床ずれ)の予防から治療において、広範多岐にわたる問題に取り組んできました。高齢化社会に伴う、

動脈硬化や糖尿病による足病変の増加に対する新しい治療法の開発に尽力されており、下肢救済のための予防医療について基調講演が行われます。

この会議が、国際的な情報交換の場となり、地域に根ざした活性化を目指す産官学のネットワークの構築に貢献することを願っております。

J. I. S. R. I. 実行委員会 地域振興学会 理事長 星野宗広

### 記念講演:

「注目される世界のバイオコックス研究の第一人者 近畿大学教授 井田民男氏」

「消化器や内視鏡医療に詳しく、胃がん予防のためのピロリ菌除菌推奨の立役者 参議院議員災害対策特別委員長、元環境大臣政務官、長崎大学客員教授、横浜薬科大学客員教授 秋野公造氏」

「ユネスコ世界記憶遺産に登録された山本作兵衛研究の第一人者 福岡県立大学顧問(前副学長) 森山沾一氏」

### 基調講演:

「カーボンナノ触媒による次世代エネルギー技術開発 近畿大学講師 湯浅雅賀氏」

「歯科医師による口腔内から見た誤嚥性肺炎の予防 医療法人 康和会 会長 柴田 康氏」

「バイオマス研究でアジアを牽引する フィリピン国デラサール大学教授 Auresenia Joseph 氏」

「下肢救済のための予防医療について 日本下肢救済・足病学会理事長 大浦武彦氏」

## シンポジウム

日時： 平成 27 年 10 月 1 日(木) 9:00～17:00

会場： 福岡県立大学附属研究所

〒825-8585 福岡県田川市大字伊田4395

TEL/FAX:0947-42-2118、Fax:0947-42-6171

<http://www.fukuoka-pu.ac.jp/>

日時： 平成 27 年 9 月 30 日(水) 19:00～

会場： 近畿大学産業理工学部 カフェテラス

〒825-8585 福岡県飯塚市柏の森 11-6

TEL:0948-22-5655 Fax:0948-23-0536

<http://www.fuk.kindai.ac.jp/>

## プログラム（準備中）

### 参加費

学生発表者 4,000 円(バンケット参加費込み)

一般発表者 15,000 円(バンケット参加費込み)

一般観覧者 無料

### 実行委員会

#### エグゼクティブオーガナイザー

木田徹也(熊本大学教授)

荒川剛(近畿大学産業理工学部学部長)

森山沾一(福岡県立大学顧問、前副学長)

菊川清(NPO 法人住学協同機構地域づくりセンター副理事長、元近畿大学産業理工学部学部長)

福田恭介(福岡県立大学附属研究所所長)

秋野公造(参議院議員災害対策特別委員長、元環境大臣政務官、長崎大学客員教授、横浜薬科大学客員教授)

佐々木満(熊本大学准教授)

キタイン・アルマンド(熊本大学助教)

星野宗広(一般財団法人 M&A(マルボシ酢・アスキー)食品技術研究所指導研究員)

## 各事務局長

キタイン・アルマンド(熊本大学)、河津博文(近畿大学)、福田恭介(福岡県立大学)、菊川清(M&A 食技研)

## セッションチェアマン

・口頭発表、ポスター発表共に、熊本大学、近畿大学、福岡県立大学、NPO 法人住学協同機構地域づくりセンター、(一財)M&A 食品技術研究所、その他適当と認める個人や団体より選出。

### [口頭発表]

- **科学、工学、超臨界技術**

[チェアマン及び審査員:佐々木満(熊本大学)、キタイン・アルマンド(熊本大学)、星野宗広(M&A 食技研)、高水新(M&A 食技研)]

- **自然科学、機能性材料とバイオマス、エネルギー**

[チェアマン及び審査員:菊川清(筑ゼミ)、河済博文(近畿大学)、久永明(福岡県立大学)、田中雅裕(M&A 食技研)]

- **社会科学、福祉と地域医療**

[チェアマン及び審査員:福田恭介(福岡県立大学)、中村晋介(福岡県立大学)、末次卓也(M&A 食技研)、鬼丸昌広(クリエイティブジャパン)]

- **医科学**

[チェアマン及び審査員:秋野公造(参議院議員)、柴田康(アイ歯科会長)、大貫宏一郎(近畿大学)]

**[ポスター発表]**

- **科学技術に基づいた”ものづくり”による地域活性化への社会貢献**

[チェアマン①:キタイン・アルマンド(熊本大学)、河済博文(近畿大学)、星野宗広(M&A 食技研)、上野裕(M&A 食技研)]

チェアマン②:坂田裕輔(近畿大学)、佐々木満(熊本大学)、大貫宏一郎(近畿大学)、福田恭介(福岡県立大学)

チェアマン③:菊川清(元近畿大学学部長)、田中雅裕(M&A 食技研)、岩井秀雄(M&A 食技研)]

## 論文の提出

論文は英語での作成となります。アブストラクトは A4 サイズ用紙に 1/2 ページから 1 ページ以内で作成してください。提出期限は 8 月 21 日(金)→9 月 8 日(火)とします。プロシーディングスは A4 サイズ用紙に 2 ページ以上 4

ページ以内で作成をお願いします。プロシーディングスの提出期限は 8月28日(金)→9月8日(火)とします。査読通知は受け取りから1週間程度を予定しています。提出は最寄りの各事務局をお願いします。

## 発表内容と発表方法

### 発表内容

- 発表されていない新技術および研究成果
- すでにある研究成果を独自の視点でまとめ直したもの
- 新製品や製造技術の改良や開発
- 地域活性化、社会福祉を目的とした調査・研究成果

### 発表方法

- 発表形式は口頭発表・ポスター発表を予定しています。原則英語での発表とします。
- 特に必要があると事務局が認めた場合は日本語で構いません。

### 発表の方法と注意点

#### [口頭発表]

各セッションの構成はオーガナイザーおよびチェアマンで決定されます。招待講演 40 分、基調講演 25 分、口頭発表 12分(講演10分、質疑応答 2 分)を予定しています。発表には液晶プロジェクタを使用したパワーポイントでの発表とします。発表者は各自 USB メモリーにプレゼンテーションデータを準備しておいてください。12:00～12:45 の間に各セッションのノート PC のデスクトップにコピーをお願いします。

#### [ポスター発表]



ポスターセッションは、45 分とします。A0 サイズ縦 1189mm、横 841mm に収まるように英語(原則)で作成してください。

## 授賞制度

優秀発表の中から最優秀賞を設けます。35 歳以下の学術研究者、学生、もしくは大学(院)を卒業(修了)をして 5 年以内の研究者を対象とします。企業研究者、アマチュア研究者は年齢を問いません。すべての論文の中から、地域活性化や社会貢献や福祉の立場から総合的に判断し、最も優れた 2 名には学会賞を授与します。

## 問い合わせ先

お近くの事務局にお問い合わせください。

実行委員会 事務局  
熊本大学 学会事務局  
〒860-8555 熊本市中央区黒髪 2-39-1  
TEL/FAX: 096-342-3665  
学会事務局長:キタイン・アルマンド  
E-mail: quitain@kumamoto-u.ac.jp

近畿大学 学会事務局  
〒820-8555 福岡県飯塚市柏の森 11-6  
TEL: 0948-22-5655  
学会事務局長: 河済博文  
E-mail: kawazumi@fuk.kindai.ac.jp

福岡県立大学 学会事務局  
〒825-8585 福岡県田川市大字伊田 4395  
TEL/FAX: 0947-42-1326

学会事務局長：福田恭介

担当：永野恵美

E-mail: fuzokuken1@fukuoka-pu.ac.jp

(一財)M&A 食品技術研究所 学会事務局

〒827-0004 福岡県田川郡川崎町大字田原 2400-1

TEL: 0947-47-1710

FAX: 0947-47-1711

学会事務局長：菊川清

主任担当：岩井秀雄 (E-mail: post@jisri.jp)

担当：田中雅裕 (E-mail: post@jisri.jp)